

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆黒字でもリストラ、早期退職募集25年は9割増 パナソニックが押し上げ

・日本の上場企業で人員削減が加速。2025年は早期退職の募集人数が足元で前年同期を約9割上回り、リーマン・ショック直後の09年に次ぐ水準。日産自動車など集計外の企業を含めると、年間でも高水準になる見通し。米国でもレイオフ(一時解雇)が多い。人工知能(AI)や経済の先行きなどを見据え、構造改革に動く企業が増えている。

◆夏ボーナス6.2%増、商船三井は335万円 4社に1社が100万円超え

・日本経済新聞社がまとめた2025年夏のボーナス調査(中間集計)は、平均支給額(加重平均)が92万4716円で前年比6.29%増となり、4年連続で前年を上回った。支給額1位は同28.35%増で335万円の商船三井だった。好業績な大手を中心とした高額支給が相次ぐ。24年夏と比較できる146社を対象。製造業は同6.27%増の101万1486円。

◆24年度GDP0.8%増、名目で初の600兆円超え 4年連続プラス

・内閣府が発表した2024年度の実質国内総生産(GDP)速報値は前年度比0.8%増と、4年連続でプラス成長となった。品質不正による出荷停止の影響が解消した自動車が個人消費を押し上げたほか、企業の設備投資も堅調だった。名目GDPは節目となる600兆円を年度で初めて上回った。GDPの過半を占める個人消費は0.8%増だった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆太陽光パネル、セミオーダー新築戸建て9割設置 政府が事業者に要請

・国土交通省は2027年度からセミオーダー式の戸建て住宅の新築の際、87.5%の物件で太陽光発電のパネル設置を要請する。年間供給戸数が300戸以上の事業者を対象として施工を求める。実績を毎年度報告してもらい、下回った場合は国交相による勧告や命令、社名公表といった措置をとる。

◆中小賃上げ後押し、改正下請法が成立 価格協議を義務付け

・改正下請法が参院本会議で可決・成立。発注事業者が取引先の下請け企業と協議せず、一方的にコストを無視した取引価格を決めることを禁止。価格転嫁しやすい取引環境をつくり、中小企業の賃上げを後押しする。新たな制度では、荷主と運送業者を規制の対象に追加。適用基準には従来の資本金に加え、従業員数を設ける。

◆高級コンロや給湯器が一堂に リンナイ、南青山の体験施設公開

・リンナイは16日、東京都港区の南青山で23日に開業するショールーム「リンナイ青山」を報道陣に公開。キッチンやバスルームなど同社の製品を体験できる。内藤弘康社長は「商品で驚きと感動を伝えるときともに、この施設で醸成される良質な文化を発信したい」と話した。

《 注目商品 》

■LIXIL、無垢ヒノキを使った高性能窓を9月に発売

・9月から、国産ヒノキの無垢材とアルミを使用した複合サッシ「TW WOOD」を発売。高性能窓・TWシリーズの技術を踏襲することで、同等の性能を確保しながら木材の質感を付与。価格も一般的な木製サッシに比べ、工務店などが採用しやすい範囲に抑えた。



■ハイアール、ジャイアントフリーザーを搭載した2ドア冷凍冷蔵庫

・ジャイアントフリーザーを装備した冷凍冷蔵庫を順次発売。スリムボディでも全体容量の約3割を冷凍室に充て、さらに引き出し式を採用することで、大容量ながら使いやすさと優れた設置性の両立を実現。120L「ジャイアントフリーザー」を装備。



■城東テクノ、フチなし高気密床下点検口に「高断熱仕様」

・フレームレスな床下点検口「フチなし高気密型床下点検口 FUCHINE(フチネ)」に「高断熱型」を追加。床仕上げ面のノイズとなっていた「点検口のフチ」をなくした業界初というフレームレス床下点検口。120mmの断熱フタを標準装備した「高断熱型」を追加。

